



愛川ふれあいの村 今月の風景

2019年8月 自然のたより

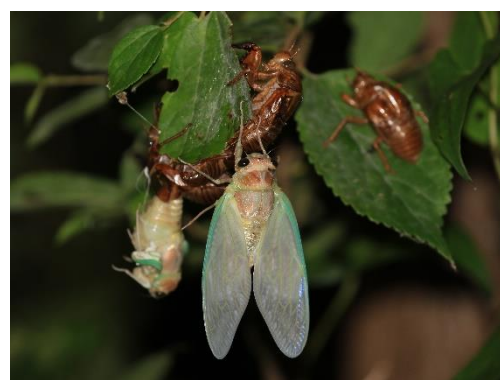
花の香りがたつ村では、クサギやアキノタムラソウに蝶や蜂が舞っています。夜にはセミの大量一斉羽化が見られました。とはいえ、気温が40℃に近いと生き物も活動を控えるようで、あまり姿を見かけない日が続きました。連日の猛暑で立秋という言葉も忘れてしまいそうですが、秋を感じさせる鳴く虫や植物を見かけることも多くなります。年々、暑さが増していくように思えますが、生き物は出現時期を変えることなく、私たちに季節を教えてくれています。(石川)



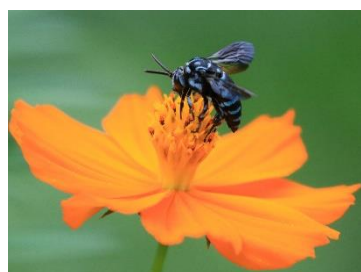
マンリョウ越しのアブラゼミ



カラスアゲハ、クサギで食事



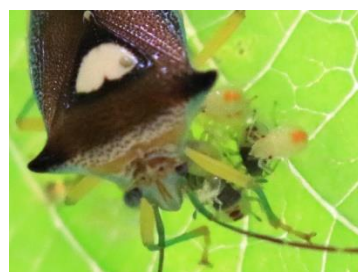
アブラゼミの羽化



ルリモンハナバチ



エンジュとコマツナギ



子守中



ツチガエル (要注意種)



キビタキ



イラガセイボウ



君は誰?



カブトムシ



カラスウリ



カノコユリ



ホバセリ (絶滅危惧Ⅱ類)



キツネノカミソリ

トピックス★夏と言えばスイカ★

夏と言えば何を思い浮かべますか？海、キャンプ、虫取り、かき氷など夏という単語から連想されるものはたくさんあります。

その中に“スイカ”を思い浮かべた方もいるかもしれません。私の地元（長野県）ではスイカを多く生産している地域があります。夏になるとよく大玉スイカを頂くことがあり、あまりの大きさに食べきれずに近所におすそ分けをするのが定番でした。もらったスイカを食べ終わる頃にまた新しいスイカを頂くということがよくありました。

スイカの生産は大変で、知り合いの農家は夏のほとんどをスイカに費やしていました。スイカは自然受粉が難しいので、一つ一つ丁寧に手作業で受粉させていきます。実が付き始めてからも毎日畑に通い、伸びてきたつるを整頓したり、うまく育たなかった実を摘んだりします。特につるは育ってきた実に絡みつくと実を変形させてしまうので、うまく整頓しないと売り物にならなくなります。初めて手伝いをしたときはその大変さにとても驚きました。丹精込めて育てた結果が、甘くておいしいまん丸スイカになります。

作物には生産者が必ずいます。食べる前の「いただきます。」食べた後の「ご馳走様。」は食材と生産者の方への感謝の気持ちであると私は考えています。その気持ちは忘れずに、スイカを食べて夏を楽しみましょう。（清水）



生き物 ★ヘビ★

小学生の頃、ヘビは遊び道具（おもちゃ）だった。気を付けろと大人から厳しく教えられていたマムシは別だが、特にカラスヘビ（ヤマカガシ）はよく捕まえて遊んだ。首に巻くとひんやりとして気持ちよかった。ある時、田植え間もない田んぼで、カエルの変な鳴き声に気づいた。見るとカラスヘビがカエルをくわえている。私は「こら！可哀そうだから離せ。」とヘビを捕まえ口をこじ開け、カエルを救い出した。

大人になってから思い出すと、食事の邪魔をされたヘビも可哀そうだったと思う。やっぱり生き物は自然のままがいい。（河野）

※カラスヘビには毒があります。



旬 ★向日葵★

青空の下、夏を彩る花の一つと言えば向日葵（ひまわり）。大輪の花を咲かせ、見る者をどこか晴れやかな気分にしてくれます。そんな向日葵には秋にも旬があります。それは“種”の部分です。10月頃、花が枯れた向日葵から種が収穫できます。日本ではあまり馴染みがありませんが、アメリカ等では食用として流通しています。種には、豊富な栄養が含まれており、高血圧や動脈硬化の予防の効果が見込まれます。花として愉しみ、種を味わう。二度の旬を感じられて一粒で二度美味しいですね。（鎌形）



来月の見どころ

ハチドリのような飛翔

クサギの花が最盛期を迎え、辺り一面に甘い香りが漂っていた。白い花は、花冠の長さが二センチほどで雄しべが四本雌しべ一本が突き出ている。筒状の花冠の奥に甘い蜜があり、長い口吻を持ったアゲハチョウやスズメガの仲間が訪れる。青い筋の目立つカラスアゲハが花にしっかりと捕まり長い口吻でいつまでも蜜を吸っていた。

しばらくすると、羽の透けた美しいオオスカシバが現れ空中停止（ホバリング）の状態です。蜜を吸っていたが、あとという間にいなくなつた。今度は、後翅の黄色い模様は特色のあるホシホウジャクが現れた。あまり警戒をすることもなく、ホバリングをしながらいつまでも蜜を吸っていた。子どもたちが、驚いたように「ハチドリ、ハチドリ」と言うが、本当にハチドリを連想させる素早い飛翔である。蛾は夜に飛ぶ種類が多いが、ホウジャクの仲間には昼行性でクサギやハナトラノオ、コスモスなどに飛来してくる。クサギはホシホウジャクなど昆虫たちのおかげで秋には碧瑠璃色の実をつけ空に輝く。来村された時は是非ハチドリのように飛翔するホシホウジャクを見つけてほしい。（吉田）

